

# 交渉速報

J R 貨物労組本部業務部

2011年3月8日

15

## 11春闘第3回賃上げ交渉報告！

中央本部は、本日16時30分から「11春闘第3回賃上げ交渉」を行い、要求の根拠について考え方を明らかにしました。

中央本部の要求の根拠は4点！

基本給は生活の基本でありベアは生活向上分である。11年連続のベアゼロは許さない。昨年の定昇見送り分は、黒字達成で還元すること。夏の水害・年末からの雪害の輸送障害に対して、職場から安全輸送を完遂してきた。この労苦に対して報い・還元すること。期末手当の削減により組合員の生活は向上どころか、物価上昇によりさらに苦しくなっている。ベアを実施し組合員の生活改善を図ること。黒字目前で浮かれている会社経営陣は自らの姿勢をただし、要求額を満額回答し苦勞した者に報いること。また、苦勞した者とそうでない者を区別すること。

これを受けて会社は現段階の考え方について示しました。

11年連続のベアゼロについては重く認識している。昨年の定昇見送りについても重く受け止めている。来年度の事業計画では20億円の経常利益を目指しているが、承継特例や軽油引取り税免税措置等の貨物会社の税制特例措置の問題もあり、先行き不透明であるため慎重に判断していきたい。定期昇給については所定通り実施する。ベアについては、経営の将来にかかわるものであり慎重に判断していく。

会社の考え方に対して中央本部は4点について指摘し、ベア満額回答の実施を迫りました。

「発足以降最大の危機」と言いつつ、欠車問題・雪害での大幅な遅配問題は収入確保・拡大に対する経営陣の緊張感が見られない証である。顧客からの指摘は会社経営陣に対するものである。トップセールスや自治体・企業等への積極的なアピールに対する会社全体としての真剣さが見えない。我々は国会議員や政党、地方では自治体等に積極的にJR貨物の優位性をアピールしてきた。本来は会社が主導し行うものである。職場では、業務に必要な資材が不足し円滑な業務運営に支障をきたす職場もある。必要な資材は会社が責任を持って確保すること。1年間の苦勞がベアに反映されないで、何処で反映させるのか？「ベアゼロ回答」では到底納得できない！我々の苦勞の成果は2桁の黒字が確実視されているところに現れたのであり、この還元を見える形で示すよう社内で検討し、次回交渉の席上で誠意ある回答を示すべきだ。

最後に中央本部は、昨年の春闘で確認した「黒字達成時には還元する」を反故にすることは絶対に許さないことを通告し交渉を終えました。組合員のみなさん！このような会社経営陣の無責任な姿勢に対し「3・15全国統一行動」に組合員を総結集し闘いをつくり出していくことを要請し、第3回交渉報告とします。

次回、第4回交渉は3月11日（金）です。